

令和7年3月25日発行 第14号

多摩市聖ヶ丘１－17－１

電　話　０４２－３７４－８１１１

発行者　校長　西田　良児

**東京都立多摩桜の丘学園学校だより**



QRコードを貼る

***ews***



**年度末にあたり**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長　　西田　良児

３月１９日には、多摩桜の丘学園第４０回高等部卒業式を、３月２１日には、多摩桜の丘学園第４０回小学部・中学部卒業式及び島田分教室中学部高等部卒業式を、多くの御来賓の方々を迎え挙行いたしました。小学部２７名、中学部２９名、高等部４１名、島田分教室２名の卒業生一人一人に卒業証書を渡し、晴れの門出をお祝いしました。

特に高等部卒業式当日は、早朝からの雨が雪へとかわり、寒かった冬の終わりを告げ、そして卒業生たちの学校生活との別れを惜しむかのような、東京では珍しいまさに名残の雪が降る中での開催となりました。

　一週間前に行った予行練習に比べ、立派にしっかりと証書を受け取る卒業生の姿に、学習と経験を積み重ねることで、一人一人が成長しながら、変わっていく力を間違いなくもっていることを改めて感じた卒業式でした。

私は、卒業式の式辞の中で、卒業生に対し将来の大きな夢に向かい、「今できることを考え、そして行動していく」ことが大切であるという話をしました。すぐには叶うかどうかわからない目標や希望も、今できることを考え前進させ、その積み重ねによって達成されるものであり、「できること」を重ねていき、自分らしく歩んでほしいとお話ししました。

高等部卒業生にとっては、これから迎えようとする社会生活が素晴らしいものであってほしいとの願いを込め、最後のエールとしてお伝えしたところです。卒業生たちのこれからの活躍を祈念しています。

さて、年度末を迎え、新入生を迎えるなど新たな年度へ走り始めました。令和７年度の本校が、保護者の方に御協力いただきながら円滑に進められるよう準備しております。特に学校における働き方改革については、これまで御理解と御協力いただいていたところでございます。４月には、新年度の学校経営計画についてお示しをし、学校の方向性について御説明してまいります。

春休みは短いですが、４月に迎える新しい学年でスムーズにスタートできますよう御家庭での見守りをよろしくお願いいたします。

本年度一年間、学校の様々な活動に御理解、御協力いただき、本当にありがとうございました。